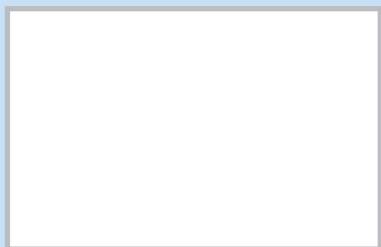




フォアダイス

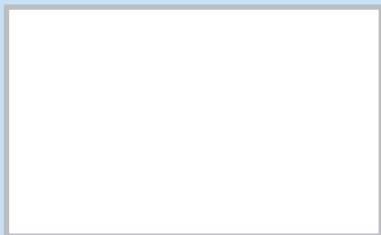
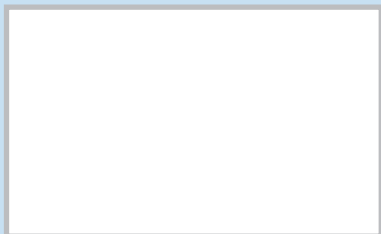
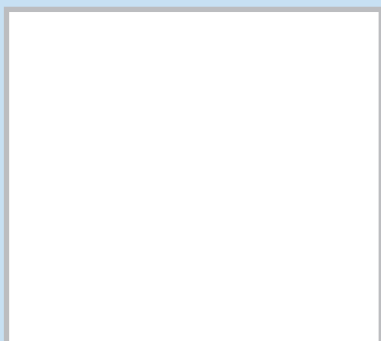
Fordyce 状態
(Fordyce's condition)

MEMO



symmetrical lividity

MEMO



治療

制汗剤，剃毛，デオドラントなどが用いられる。腋臭症に対しては外科手術やレーザー脱毛も行われる。ただし，腋臭症を主訴に受診する患者の多くは臭気に関して正常範囲内であり，神経症的要素が強い（osmidrophobia）。

フォックス フォアダイス

3. Fox-Fordyce 病 Fox-Fordyce disease

同義語：アポクリン汗疹（apocrine miliaria）

症状

主に 20 歳代女性の腋窩，乳暈，外陰部などアポクリン汗腺分布領域に生じ，常～紅色で直径 2～3 mm の毛孔一致性丘疹が^{しゅうぞく}集簇する。激しい^{にゅううん}痒疹を伴い，運動や興奮で増悪する。慢性に経過し，搔破により苔癬化^{たいせん}したり，化膿性汗腺炎などの二次感染を生じることがある。

病因

アポクリン汗腺の導管が閉塞し，アポクリン汗が表皮中に漏出して生じる。

治療・予後

痒疹に対してステロイド外用や抗ヒスタミン薬内服を行うが難治性である。腋臭症に準じて剪除法など外科手術も行われる。

4. 多汗症 hyperhidrosis, hyperidrosis

分類・症状

エクリン発汗が亢進している疾患で，以下のように分類される。

①全身性多汗症（generalized hyperhidrosis）

高温多湿の環境や運動時あるいは交感神経緊張時には，生理的に多汗になる。甲状腺機能亢進症，糖尿病，低血糖，感染症，神経変性疾患（^{パーキンソン}Parkinson 病など），悪性リンパ腫といった疾患を有する場合や，薬剤（解熱薬，ステロイド，向精神薬など），妊娠，肥満などによっても多汗となる。特段の原因のない特発性全身性多汗症も存在する。

②局所性多汗症（localized hyperhidrosis）

手掌，足底，腋窩，顔面など，体の一部に限局性に多汗がみられる。緊張や運動などで増悪することが多い（情緒性発汗）。安静時でも蒸発量を越えた発汗を生じることが多く，QOL の